

日本語で学ぶNRMT(授業概要)

名古屋音楽大学では、正式な認可を受けて、NRMTの資格課程を創設しました。下記が資格課程の概要です。＊認可申請中（1月現在）

① NRMTセミナー「音楽療法研究I &II」

NRMTセミナーと呼ばれる授業で、ノードフとロビンズによる事例や現代の事例を中心として、NRMTの歴史、哲学、理論を学びます。ディスカッションを通して深く学びます。

② NRMT演習「音楽療法演習I-IV」

NRMTセラピストの下での現場実習で、個人と集団のセッションを行います。同時にインデックスというNRMT特有の記録と分析法を学びます。この演習を通して、グループスーパービジョンを受けられます。また、保護者や他領域の専門家とのコミュニケーションや、ピアスーパービジョンの方法も学びます。

③ NRMT技能「臨床即興入門」「臨床即興応用」「臨床即興グループワーク」

NRMTで必要となる音楽資源（リソース）の開発を行います。ロールプレイを通して、言葉の代わりに音楽を用いてコミュニケーションするのに必要な音楽的能力（臨床即興スキルと音楽リソース）を身につけます。NRMTの楽曲のレパートリーも紹介され、実践・応用できるようにします。

④ ファイナルプロジェクト

研究法の授業で培った知識を基礎に、セミナー、演習、技能の授業で身につけた知見を統合し研究論文としてまとめます。またそれを説得力のある方法でプレゼンテーションを行います。NRMT資格認定の集大成となります。



新教員紹介：鈴木琴栄先生 KOTOE SUZUKI, PH.D.

日本・全米音楽療法学会認定音楽療法士（MT-BC）、ノードフ・ロビンズ音楽療法士（NRMT）。大学の図書館で遭遇したノードフとロビンズ博士による「創造的音楽療法」という本をきっかけに、大学卒業後の2001年、ロビンズ博士のもとで学ぶために留学。2004年ニューヨーク大学大学院卒業後、ニューヨークのノードフ・ロビンズセンターで本格的に臨床実践、トレーニングを積む。認定資格を受けた後も、2008年から2017年まで再渡米し、センターで上級トレーニングを継続。後進の指導・助教にあたる。日本に帰国後は小児リハビリテーション科にノードフ・ロビンズのアプローチを用いた臨床現場を開拓、実践を続けている。

